

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 / 2022年9月卒業希望の方へ

●9月卒業希望者登録について

5月までの「卒業試験」合格者と、「卒業研究」提出予定者へ、「履修状況票」を6/1に発送しました。

7月「卒業試験」受験者へは、「履修状況票」を6/24に発送しました。

卒業希望者に登録された方で、提出後1カ月以上返却されないレポートがある場合は、通信教育部までご連絡をお願いいたします。

●「卒業確定通知」の発送について

各卒業判定日において、卒業要件を達成された方には「卒業要件達成のお知らせ」をお送りしますが、「卒業確定通知」は別途お送りいたします。「卒業確定通知」にて「卒業証書」および各種証明書発行時期をお知らせいたします。

2 / 2023年3月卒業希望の方へ

●「卒業試験」の受験について

9～1月の科目修了試験で「卒業試験」を受験し合格する必要があります（すでに合格済の方および「卒業研究」提出予定の方を除く）。

●卒業判定日（1/15、2/5、2/25、3/20）までに単位修得するために

各判定日の1カ月前までにレポート提出・科目修了試験受験・スクーリング受講が必要です（『試験・スクーリング情報ブック2022』p.34参照）。学習計画をたて、早めに学習に取り組むようにしてください。

3 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連 問い合わせ先：uj@tfu.ac.jp

1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「演習A」スクーリング結果通知・「社会福祉士養成課程履修費」納入依頼書	6-7月受講者 ※「養成課程履修費」は合格者へ発送	各受講日から 1ヵ月程度
「演習B」スクーリング結果通知	5-6月受講者	～6/4・5受講者：6/16 6/25・26受講者：7/26
「実習指導B-3+演習C-2」スクーリング 受講許可証・納入依頼書	今年度の実習受講(予定)者	7/11
「演習C」スクーリング結果通知	8/13・14受講者	9/14
「社会福祉士指定科目履修見込証明書(卒業見込証明書を含む)」 ※国家試験受験申込用	左記申込者で発行条件(p.66)を満たした方	8/1以降順次

2 体験学習について

(1) 来年度(2023年度)の「実習」を申し込む方へ

①体験学習の免除希望者は、「実務経験実績報告書」(2022年度版『実習

の手引き 第1分冊』様式3)を9/15までにご提出ください。

②体験学習の受講希望者は、原則10/31まで、遅くとも12/10までに実施、『体験学習記録』を12/20までにご提出ください。

(2) 体験学習の申込みについて

体験学習の申込みにあたっては、2022年度版『実習の手引き 第1分冊』が必要です。お持ちでない方は『With』155号 p.75を参照し、社会福祉士演習・実習係宛てにお申し出ください。

3 「社福演習A」スクーリング受講後のレポート提出について

【対象課題】「演習A」2・3単位め

【レポート提出締切日】

- ・ 6～7月受講者→9/15 (遅くとも10/15、再提出は11/15)
- ・ 10～1月受講者→3/15 (遅くとも4/15、再提出は5/15)

4 「社福演習A」(10月新潟会場)スクーリングについて

【対象学年】2年生以上

【日程・会場】10/22・23 (新潟医療福祉カレッジ)

※新型コロナウイルスの影響により、オンデマンド・スクーリングに変更となる可能性があります。

【申込締切日】9/15必着

【申込方法】申込用紙(巻末)の提出

【受講条件】『レポート課題集A-I 2022』p.169参照

【受講判定日】9/15

※2023年1/21・22 (仙台会場)については次号『With』157号でご案内いたします。

5 「社福演習B」(10～11月)のスクーリングについて

【対象学年】3年生以上

【日程・会場】本冊子巻末ハガキ or 『試験・スクーリング情報ブック2022』
p. 66参照

※いずれの希望日でも受講できるよう、日程調整をお願いします。

※新型コロナウイルスの影響により、オンデマンド・スクーリングに変更となる可能性があります。

【申込締切】9/15必着

【申込方法】申込ハガキ(本冊子巻末)の提出

【受講条件】『レポート課題集A-I 2022』p. 171参照

【受講判定日】9/15・10/15(受講条件達成状況の確認日)

※10/15で達成の場合、受講可能なスクーリングは11月開講分のみ。

【留意点】

- ・3年生以上の方(本年4月入学の3年次編入学者を含む)は、来年度に実習や卒業をするためには今回の申込が必要です。
- ・各締切日後の提出物受理など、受講条件の緩和は一切ありません。
- ・受講判定において定員を超えた会場については、学習の進行状況(単位修得、レポート提出等)および居住地を鑑みて決定します。それでも定員を超える場合は無作為抽選とします。
- ・スクーリング試験の合格率は例年8～9割程度です(受講条件の達成の他、「社会福祉援助技術」ならびに関連知識について、復習を十分に行ってからの受講を推奨いたします)。

6 「体験学習・次年度実習ガイダンス」について

9/1～15申込の来年度(2023年度)「社会福祉援助技術実習」受講希

望者で、「体験学習・次年度実習ガイダンス」を2020年4月以降に受講していない方は、任意の用紙に「体験学習・次年度実習ガイダンス資料希望」と明記し、学籍番号・氏名を記載のうえ通信教育部まで書面（メール・FAX・郵送）でお申込みください。

※ガイダンス受講の代替として、2022年度版『実習の手引き 第1分冊』と「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などをお送りします。

7 **来年度(2023年度)「社会福祉援助技術実習」の申込みについて**

来年（2023年）6月第3週～10月第2週（9月末卒業希望者：～8月第2週）に実習を希望する方は、下記の要領でお申込みください。

【申込期間】 2022年9／1～9／15（必着）

【提出物】 2022年度版『実習の手引き 第1分冊』 p. 39参照。

※申込者には、提出物受理のお知らせを送付します（9／25以降）。

【申込受理条件】 2022年度版『実習の手引き 第1分冊』 p. 40参照。

【申込受理判定日】 10／31 or 11／30 or 12／20 or 1／31

※各判定日から2週間程度で、「受理通知」等を送付します。

【留意点】

- ・各締切日後の提出物受付など、申込受理条件の緩和は一切ありません。
- ・2022年度版『実習の手引き 第1分冊』をお持ちでない方は、『With』155号 p. 75をご参照ください（紛失された場合の再配付手数料は1,000円）。
- ・実習希望先への依頼は通信教育部で行います。学生ご自身による実習希望先への問い合わせは厳禁となっています。
- ・実習先の希望について、種別や期間を限定し過ぎると、実習先決定までに時間を要したり、見つからず来年度の受講ができないという可能性があります。

- ・以前からご案内のとおり、2013年度以前入学者の実習費は2019年度から値上がりし11万円となります。

8 来年度、科目等履修生として「実習科目」受講予定の方へ

※本制度は、2023年度の再入学まで可能な制度です（次項9参照）。

2023年1月末までに、下記①～③を行うことが必要です。

- ① 実習科目「社会福祉援助技術実習指導A・B・実習」以外のすべての指定科目の単位修得（「社会福祉援助技術演習C」スクーリングは12月までの受講が必要）。
- ② 卒業要件の達成。
- ③ 科目等履修生としての出願手続き（ご自身で『募集要項2023』（12月発行予定）をお取り寄せてください）。

※実習申込みは9/1～15に、「社会福祉援助技術実習希望届」（2022年度版『実習の手引き 第1分冊』巻末様式4）を提出し、受理判定日までに条件を達成してください。

※上記を達成できず在籍を継続して実習を行う場合、再度「演習C」スクーリングを受講する必要があります（受講料の納入も必要）。

9 【重要】2021年度からの制度改正について

社会福祉士国家試験受験資格取得に関する制度改正が、2021年度1年次入学者から順次適用されています（2年次編入学は2022年4月以降、3年次編入学は2023年4月以降）。

制度改正が適用されてから再入学をすると、修得済み科目の再履修、実習日数および実習箇所の増加等が生じるため、現在の学籍を継続しての学

習をお勧めいたします。

また、科目等履修生で「実習指導・実習」を1年間で修得することができるのは2023年度の再入学までとなります。2024年度以降は実施できません。

4 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験希望の方へ

1 国家試験対策講座・講義について

内容、実施方法等について、現在検討中です。決まり次第、対象者へ郵送でご案内いたします。

2 全国統一模擬試験について

過日（7 / 4 付）、日本ソーシャルワーク教育学校連盟（以下、「ソ教連」）主催「全国統一模擬試験」の受験の手引きを、令和4年度国家試験受験予定と思われる方に送付いたしました（未着の場合は国家試験受験対策係（goukaku@tfu.ac.jp）までご連絡ください）。内容をご確認いただき、ご希望の方は申込み忘れのないようご注意ください（申込締切9 / 15）

【会場試験の実施内容】

実施日：令和4年10月30日(日)

会場：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

集合時間（予定）：共通科目9時45分集合・専門科目13時15分集合

※詳細は、決まり次第、ソ教連ホームページ内の全国統一模擬試験専用ページに掲載いたします。

3 国家試験受験の申込みについて

●学生自身で下記①～③を行う必要があります。

- ①『受験の手引』の申請（試験センターへ。8月以降）
 - ②「受験申込に必要な証明書」の申請（通信教育部へ。8/1～9/25）
 - ③受験申込（試験センターへ。所定の期限まで）
- ※①②の詳細は下記参照。

①「社会福祉振興・試験センター」へ、『受験の手引』の申請

【申請方法】 下記のいずれかにて（変更の可能性があるので要確認）。

- ・ホームページ：下記ホームページに、例年8月頃に申込みフォームが開設されます。
- ・郵便はがき：はがきの裏面に、ご自身の「郵便番号・住所・氏名・電話番号」および「社会福祉士 or 精神保健福祉士受験の手引の部数」を記入し、下記宛てに郵送（はがきは『受験の手引』が送付される際の「あて名ラベル」になるので丁寧に記入）。

【郵送先・問い合わせ先】

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6
ホームページ：<http://www.sssc.or.jp/>
試験案内電話：03-3486-7559 試験室電話：03-3486-7521

②通信教育部へ、「受験申込に必要な証明書」の申請

【証明書発行条件】 90単位以上（指定科目40単位以上）の修得（2・3年次編入学者は入学時の一括認定単位を含む）。

※9/25時点で未達成の場合、来年2月の国家試験は受験不可。

※条件達成のためのレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受

講は8/25までに完了すること。

【申込期間】 8/1～9/25

【申込方法】 「各種証明書申込書」の提出（本冊子巻末等）。

※『受験の手引』内の用紙の提出は不要です。

【申込種類】（本年9月末に卒業予定の方も含め見込証明書）

社会福祉士国家試験受験希望者

- ・正科生：「社会福祉士指定科目履修見込証明書」
- ・科目等履修生：「社会福祉士指定科目（実習科目）履修見込証明書」（通信教育部または通学課程教務部「社会福祉士指定科目履修証明書」の申請も必要）

精神保健福祉士国家試験受験希望者

「精神保健福祉士指定科目履修見込証明書」

5 精神保健福祉士 取得希望の方へ

～'11 : 2011年度以前入学者

'12～ : 2012年度以降入学者（2021・2022年度1年次入学者、2022年度2年次編入学者を除く）

'21新～ : 2021年度以降入学者（2021年度2年次編入学者、2021・2022年度3年次編入学者を除く）

精神保健福祉士関連 問い合わせ先：psw@tfu.ac.jp

重要なお知らせ

1 '12~入学年次ごとに適用される演習・実習の「受講条件」について（再掲）

『With』153号 p. 57をご参照ください。

2 精神保健福祉士国家試験対策講義について

今年度は、1年間を通した動画コンテンツの配信による在宅学習と同時双方向型講義によるフォローアップを、オンラインで実施させていただきます（有料）。

今年度に実習Bや演習C（実習免除者用）を受講して卒業を目指している精神保健福祉士国家試験受験資格取得予定の方には、既に個別に大学メールアドレスへご案内させていただいておりますが、過年度に実習等を受講済みの方で、本対策講義の受講をご希望の方は、精神保健福祉援助実習系のメールアドレス（psw@tfu.ac.jp）までお問い合わせください。

●発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「精神保健福祉士指定科目履修見込証明書（卒業見込証明書を含む）」 ※国家試験受験用	今年度国家試験受験予定者（各種証明書申込書の様式にて申請のあった方）	8 / 1 より順次

◎開講時間や受講にともなう各種課題の提出締切は、今後の『With』や『試験・スクーリング情報ブック2022』1部の「精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等」をご参照ください。

【2011年度以前入学者へのご案内】

1 次年度（2023年度）「精保実習」受講希望の方へ

【ご注意】 本案内は、2011年度以前入学者が対象となります。

下記(1)～(3)の様式を、9/15(木)必着で精保実習係宛にご提出ください。

(1) 「精神保健福祉援助実習希望届」【様式3】

(2) 「学習計画書」【様式4-1】 または 【様式4-2】

※【様式4-1】2008年度以前入学者用・【様式4-2】2009～2011年度入学者用

(3) 「実習課題レポート」【様式14】

〈様式の取得方法〉

① 「精保演習」スクーリングをすでに受講済みの方

スクーリング受講時に配付された『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の様式を使用してください。

② 「精保演習」スクーリングを今年12月に受講希望の方

実習係宛でのメールアドレス (psw@tfu.ac.jp) へ、下記要領にて8/15(月)必着でお申し出ください。

・件名：精保実習申込用紙・配付希望届

・本文：学籍番号・氏名・次年度実習希望の旨を明記。

※②の申請者には上記様式のみを送付し、『精神保健福祉援助実習の手引き』は演習スクーリング受講時に配付します。

【2012年度以降入学者へのご案内】

※2021・2022年度1年次入学者、2022年度2年次編入学者を除く

1 次年度（2023年度）「精保実習A」の申込（エントリー）について

【対象者】 「精保演習A」を受講済みの方で、2023年度に「精保実習A」（配

当年度：3年以上）を受講希望の方

【定員】40名（新カリキュラム「精保実習Ⅰ」と合わせた定員となります）

【申込方法】エントリー用紙（本冊子巻末）の提出：8/15月必着

※申込締切後、エントリー用紙提出者に送付される「実習希望届」の提出：9/15休必着

【実習選考試験】実習受講のためには、実習選考試験（9月実施予定）の合格が必要です。

エントリーした方には、試験概要（試験日・出題範囲等）を通知します。

（注）過去に「精保実習A」の受講を辞退・不許可・中止となった方は、改めて申込みをする必要があります。また、申込後に本学にて面談を実施する場合があります（対象者には個別に通知）。

※「精保実習A」再受講の方は、「精保演習A」の再受講は不要ですが、「精保実習A」受講年度に取り組む演習・実習指導スクーリング、レポートから再受講となります。

2 次年度（2023年度）「精保実習B」の申込（エントリー）について

【対象者】2023年度に「精保実習B」（配当年次：4年）を受講希望の方

【申込方法】エントリー用紙（本冊子巻末）の提出：8/15月必着

※申込締切後、エントリー用紙提出者に送付される「実習希望届」の提出：9/15休必着

※必要に応じて面談を実施する場合があります（対象者には個別に通知）。

（注）今年度（2022年度）「精保実習A」の受講を辞退・不許可・中止となった方は、次年度（2023年度）「精保実習B」は申込みできません。

【2021年度以降入学者へのご案内】

※2021年度2年次編入学者、2021・2022年度3年次編入学者を除く

1 次年度(2023年度)「精保実習Ⅰ」の申込(エントリー)について

【対象者】「ソーシャルワーク演習」(精神保健福祉士)を受講済みの方で、2023年度に「精保実習Ⅰ」(配当年次:3年以上)を受講希望の方

【定員】40名(旧カリキュラム「精保実習A」と合わせた定員となります)

【申込方法】エントリー用紙(本冊子巻末)の提出:8/15(月)必着

※申込締切後、エントリー用紙提出者に送付される「実習希望届」の提出:9/15(木)必着

【実習選考試験】実習受講のためには、実習選考試験(9月実施予定)の合格が必要です。

エントリーした方には、試験概要(試験日・出題範囲等)を通知します。

6 幼保特例講座受講の方へ

●10月生の方へ

(1) 「TFUオンデマンド」でのWebレポートの配信について

レポート提出期限である8月末に一旦停止します(成績登録は9/1～5に行います)。

※2022年度の継続手続きをされる方への配信再開時期

- ・9/24までに学費納入をした場合→10/1
- ・9/25以降に学費納入をした場合→納入確認後1週間程度

(2) 学習期限について

10月生の方は前号(『With』155号) p.82～83をご確認のうえ、9月までに単位修得できるよう、学習にお取り組みください。

(3) 単位修得が完了せず10月以降も学習の継続を希望される場合

【2014・2015・2017・2018・2020・2021年度入学の10月生の方】

8月上旬にお送りする書類（履修希望科目登録用紙・継続申込書）の返送（10/10まで）と、学費の納入（10/20まで）を行ってください。

【2016・2019年度入学の10月生の方】

8月上旬にお送りする書類（履修希望科目登録用紙」「在籍更新志願書」「誓約書・保証書・同意書）」の返送（10/10まで）と、学費と在籍更新手数料の納入（10/20まで）を行ってください。

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

すべての単位修得後に、下記①②の手続きが必要です。

- ① 大学に、「学力に関する証明書 幼稚園（特例科目）」の発行申込みをする（「各種証明書申込書」（本冊子巻末or『学習の手引き』巻末様式8）を提出。定額小為替600円分と返信用封筒（宛名明記・84円切手貼付）を同封）。
- ② 各都道府県教育委員会に、「教育職員検定」の方法で免許申請を行う（申請書類・方法などは、教育委員会のホームページなどで確認してください）。

●保育士資格取得希望の方へ

すべての単位修得後に、下記①～③の手続きが必要です。

- ① 大学に、「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書（特例教科目）」の発行申込みをする（「各種証明書申込書」（本冊子巻末or『学習の手引き』巻末様式8）を提出。定額小為替300円分と返信用封筒（宛名明記・84円切手貼付）を同封）。
- ② 保育士試験事務センターに、保育士試験の受験申請を行う（申請書類・方法などは、全国保育士養成協議会のホームページなどで確認し

てください)。

- ③ 全科目免除による保育士試験の合格通知書が届いたら、保育士登録事務処理センターに、保育士の登録申請を行う(申請書類・方法などは、保育士登録事務処理センターのホームページなどで確認してください)。

●科目等履修生の修了手続きについて

前述の幼稚園教諭免許状申請または保育士登録申請の他に、『学習の手引き』巻末様式15 or 19を提出し、大学へ学生証の返納と修了手続きが必要となります(証明書発行申込み書類に同封可)。

【全科目Webレポート解答による返金を希望される方へ】

以下の3点をご提出ください。

- 1) 幼保特例講座 全科目Webレポート解答による返金希望書 兼 学生証返納・修了届(『学習の手引き』巻末様式15)
- 2) 学生証
- 3) 通帳のコピー(金融機関名・支店名・預金種別・口座番号・口座名義が確認できる面、表紙のコピーは不可)

※下記をご参照ください。

※預金種別は普通預金のみ振込返金可能です。

【通帳コピー面】



※ゆうちょ銀行の場合は通帳の見開きページ
全面をコピーしてください。